

## 1 主権国家

- (1) 他の国から干渉を受けず、国内を全て支配している国を( **主権国家** )と言う。
- (2) 現在の国際社会は、約( **190** )の主権国家から成り立っている。
- (3) 国際社会のルールの中で、主権国家は、他のどの国からも領土を侵略されないことを、( **領土不可侵** )と言う。
- (4) 国際社会のルールの中で、全ての国家は、他の国の国内のことに一切干渉しないことを、( **内政不干渉** )と言う。
- (5) 国際社会のルールの中で、国の大小・経済力に関係なく、全ての国が法的に平等であることを、( **主権平等** )と言う。

## 2 外交と国際法

- (6) 国家が他の国と交渉し、国家間の問題の解決をしていく活動を( **外交** )と言う。
- (7) 国家間の行動を規制する決まりを( **国際法** )と言う。
- (8) オランダの法学者・( **グロチウス** )は、国際社会におけるルールの必要性を説いたことから、「国際法の父」と言われる。
- (9) 国際法の1つで、文書に表されていないが、歴史的に国家間で守られてきたしきたりを( **国際慣習法** )と言う。
- (10) 国際法の1つで、国家間の約束を文書で表したものを( **条約** )と言う。

### <ワンポイント解説>

- ... 国際社会は、主権国家同士が互いの存在を承認しあうことで成立している。
- ... 2011年7月9日に、南スーダン共和国が独立し、一番新しい主権国家となった。
- ... 国と国が接する国境は、1つの国の主権の及ぶ境界でもある。
- ... 国際連合憲章第二条七項に規定されている。
- ... 主権平等の原則に基づき、国際連合での投票権は、どの国も1票である。
- ... 外交は、国家の利益や繁栄に大きな影響力を持ち、政府にとっても重要な仕事の一つである。
- ... 国際法は、強制力がない点が弱点である。
- ... グロチウスの主な著書は『戦争と平和の法』。
- ... 慣習国際法には、外交使節の治外法権や公海自由の原則などがある。
- ... 最近では、二国間ではなく、多国間で締結する条約も多い。



### 【アプリ版のご紹介】中高生の公民

基本的人権、三権分立、需要と供給、社会保障、地球温暖化、  
公民を学ぶ上で絶対に抑えておきたい重要事項を、分かりやすく解説。  
このアプリ一本で、政治・経済・国際関係の3分野をマスターすることができます。



### 【他アプリからオマケの一題】

#### 中高生の日本史

第二次護憲運動により、普通選挙法が制定された時の総理大臣は？  
(A) 東条英機 (B) 桂太郎 (C) 加藤高明 (D) 吉田茂